

田んぼダムだより ~第2号~

今年、想定外に早い梅雨入りとなりましたね。大急ぎで田植えの準備をされていることかと思えます。田んぼダム実証事業の準備も急ピッチで行ってきましたが、いよいよ具体的に動き出します!!皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

《《これまでの動き》》

- ・3月末~4月中旬...モデル地区における地元説明会(モデル地区決定)
- ・4月中旬~5月末...障がい者支援施設によるせき板製作
- ・5月22日...せき板設置式、せき板コンテスト(田んぼの学校inひとよし)

◆モデル地区が決定しました!

3月末から4月中旬で、田んぼダムのモデル地区における地元説明会を開催しました。(人吉市4/7、錦町3/29、あさぎり町3/29,3/30、多良木町4/8、湯前町3/29、水上村4/18、山江村4/5開催。)

説明会では、「田んぼダムは、下流域の生命財産を守るためにも非常に重要な取組み」、「みんなで協力することが大事」など多くの前向きなご意見をいただきました。



◆知事も駆けつけ「せき板」を設置!

5月22日、人吉インター近くの田んぼで「せき板設置式」を行いました。同日開催のせき板コンテスト(田んぼの学校)では、人吉東小学校5年生にイラストを描いてもらった個性溢れる賑やかなせき板の審査が行われ、優秀賞を受賞した児童2人と蒲島知事、中村会長(人吉球磨地域土地改良区連絡協議会)とで田んぼに設置しました。

知事からは、「皆さんが描いたせき板が大きな力を発揮することに誇りをもって欲しい」とのメッセージが伝えられ、田んぼダムが人吉・球磨、更には県全体に広がることへの期待を示されました。



◆せき板完成！配付が始まります！！

球磨郡の障がい者支援施設「第二つつじヶ丘学園（あさぎり町）」と「あさひヶ丘（相良村）」にせき板2,800枚を製作していただき、5月末に全て完成しました。

カットしたせき板はサンドペーパーで面取りを行うなど、一つ一つ手作業で丁寧に仕上げていただきました。関係者の皆さまありがとうございました！！

6月から農家の皆さまにせき板の配付を開始します。配付方法は、各市町村でバラバラとなりますので、各市町村からの連絡をお待ちください。

せき板は以下の3種類があり、それぞれの効果を検証していきます。



せき板タイプ

門型タイプ

・人吉市、多良木町、水上村、あさぎり町（神殿原・永山地区）



穴開きタイプ

・湯前町、錦町、山江村、あさぎり町（下西・下乙地区）



柵無しタイプ

・全市町村該当（排水柵がない田んぼに設置するせき板）



※配付するせき板は、南稜高校や人吉東小学校に描いていただいたイラストではなく、くまモンの焼き印がされているものとなります。上記イラストはイメージです。

◆今後のスケジュール（予定）

- ・6月上旬～6月中旬…各モデル地区におけるせき板配付
- ・6月3日…効果検証用の水位計設置（一部の対象ほ場、排水路）
- ・6月4日…田んぼダム効果等検証委員会
- ・6月～ …田んぼダム実証実験（特に梅雨、台風時期）



くまモン焼き印

